

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	污水管渠維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	浅川 晃					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公共下水道（污水）施設利用者	意図	公共下水道（污水）施設の適正な機能を維持する。
事業内容	下水道施設（本管、公共污水樹等）の排水機能を維持するため、管渠等の清掃及び補修等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道（污水）の供用開始以降、整備区域の拡大により維持管理の対象となる下水道施設が増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	污水管渠修繕箇所	14	18	13	
②	人孔蓋取替工事枚数	2	23	9	枚	↓↓↓	
③	污水管渠清掃延長	515	688	580	m	↓↓↓	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 污水管渠の老朽化に伴い、年々事業費が増加傾向にある。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	16,084,480	16,305,680	20,294,240
事業費(b)(円)	11,278,980	10,936,080	15,020,640
うち一般財源	11,278,980	10,936,080	15,020,640
職員給与費(c)(円)	4,805,500	5,369,600	5,273,600
人役・職員(人)	0.70	0.80	0.80
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	污水管等の破損や閉塞による修繕に対する緊急対応できる体制づくりを図る。	③取組における課題(Check)	同じ箇所でも複数回管渠の詰まる箇所があり、店舗の油類の排水が原因と思われるため、原因者へ管渠清掃の費用負担を負わせるための要綱等を作成する。
②H30に実施した取組(Do)	管渠閉塞の発生元が特定できた際は、原因者に清掃費用を負担させた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	平成28年度に作成した下水道BCPの見直しを検討する必要がある。